

# 流星の文学者

— 近代名古屋を通過した7人の作家 —



二葉館の創建は大正9年、川上貞奴と福沢桃介が名古屋の拠点として大正15年までの6年間この館に住みました。大正デモクラシーの名のもと、名古屋もまた文化文芸に花開いた時代、貞奴と桃介の様に、名古屋をしばらく生活の場にした文学者たちがいきました。

今回は時代を少し拡げて、大正を中心に明治から昭和初期にかけての一時期に名古屋に居を置いた、7人の文学者に焦点をあて、作品にみる名古屋との接点、いきさつやエピソードなどを紹介します。

**時期:** 2月8日(月・ふたばの日)～3月8日(火)  
※初日の2月8日は開館記念日のため開館、入館料無料

**時間:** 10:00～17:00

**会場:** 文化のみち二葉館 2階展示室

# 文化のみち二葉館 トークイベント 「近代文学における “名古屋”を語る」

対談

山下達治 × 三田村博史

(あいち文学フォーラム)

(中部ペンクラブ会長)

流星の文学者7人の人物像と、それぞれの作品や時代背景にふれながら、近代文学における“名古屋”という地域性についてお話しします。



**時期:** 2月28日(日)  
**時間:** 13:30～15:00

**会場:** 文化のみち二葉館 1階大広間  
**当日先着順自由席**

入場無料(要入館料)



文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】

## 施設案内

「文化のみち二葉館」という愛称には、旧川上貞奴邸がかつて東二葉町にあり、「二葉御殿」という名で親しまれていたこと、また、新しい芽のふたばのように、文化のみちが成長していくという期待が込められています。

◆文化のみち発見 1階大広間

パネルやビデオなどで、文化のみちの町並みや歴史などを紹介するとともに、文化のみちに関する各施設の利用案内や催し物、関連団体の活動などの最新情報を発信。また企画展などを開催し、文化のみちの魅力をさらに発信する場としています。

◆郷土ゆかりの文学資料2階展示室5,6,7,8

近代文学の祖こと、坪内逍遙をはじめ、城山三郎(直木賞)、小谷剛(芥川賞)、江夏美好(田村俊子賞)、春日井建(遠空賞)など名古屋を中心とする郷土ゆかりの文学者および文学作品を、資料やパネルで紹介。また、当地において盛んに展開されてきた同人誌活動をふりかえります。資料の一部は本欄に配架しており、手にとって自由に閲覧いただけます。

◆ピカソも魅了した女優 川上貞奴 1階展示室1/一部大広間

展示室1では、貞奴の生涯を紹介するパネルとあわせて、主に女優として活躍していた頃の資料を展示します。



※企画展開催時は展示替えします。

川上 貞奴

明治4(1871)年生まれ。16歳で芸者となり、23歳で書生演劇の川上音二郎と結婚。川上一座のアメリカ巡業で、女優として初めて舞台に立つ。ヨーロッパに渡り、明治33(1900)年のパリ万博でマダム貞奴の名は、一躍有名になる。音二郎の死後、福沢桃介の事業パートナーとして、また自らも事業家として、「二葉御殿」で暮らした。

福沢 桃介

明治元年(1868)生まれ。福沢諭吉の次女ふさの婿。名古屋電灯(株)の取締役となった頃から電力事業に乗り出し、大同電力(株)を設立。名古屋を拠点として、木曾川水系に大井発電所をはじめ7カ所の発電所建設。電力王といわれた。

## EVENT 主なイベント

※各イベントの詳細な内容やスケジュールは、中面をご覧ください

### ふたばの日催事 2/8(月)のみ

#### 澄音会・「大正琴」の薫り

◆時間/11:00～12:00  
◆会場/文化のみち二葉館 1階 大広間  
◆出演/大正琴 澄音会

#### 南米のハーブ「アルパ」の薫り

◆時間/13:30～14:30  
◆会場/文化のみち二葉館 1階 大広間  
◆出演/かとうともこ&アルパユニット

#### ◆川上貞奴の手書き雛の羽織と雛人形

時期:2016年2月8日(月)～2月21日(日) ※羽織は3月8日(火)まで

#### ◆雛人形展「福よせ雛」

時期:2016年2月8日(月)～2月14日(日)

#### ◆文化のみち二葉館 「額入り姫きもの」制作無料講習会

時期:2016年2月9日(火)・2月10日(水)・2月12日(金)

#### ◆流星の文学者-近代名古屋を通過した7人の作家-

時期:2016年2月8日(月)～3月8日(火)

#### ◆文化のみち二葉館 トークイベント

近代文学における“名古屋”を語る

時期:2016年2月28日(日)

### 文化のみち二葉館入館者プレゼント

2月8日(月)のみ来館先着100名様に  
特製クリアファイルセットを進呈。

進呈場所は文化のみち二葉館 1階受付 10:00～ ※なくなり次第終了

### 文化のみち榎木館も入館料無料

2月8日(月)当日のみ終日入館料無料

10:00～17:00  
先着100名様に甘酒進呈いたします。

## 文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榎木町3丁目23番地  
TEL/FAX 052-936-3836  
URL <http://www.futabakan.jp/>

開館時間/午前10時～午後5時  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)



交通のご案内 ※2月8日(月)はメーグルは運休です。

●なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車 ●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分 ●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分 ●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分 ●基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分  
\*駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



※このチラシは印刷機を調整していません

主催:文化のみち二葉館  
協力:成田山貞照寺、大正琴 澄音会、古製美術工房、福よせ雛プロジェクト、K.M.Y.ステンド硝子アート協会、画家・柳瀬辰久、文化のみち榎木館、東区文化のみちガイドボランティアの会、貞奴フォーラム(順不同)

文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】